

平成28年度 長岡市三島郡外国語活動部 活動報告

部長 高橋 和人

1 研究主題

「学び合う授業の創造」

～学ぶ意欲を高め、確かな学力を身に付ける子供の育成を目指して～

2 研究の概要

実施日時	事業	内容	会場
4月21日 15:30～ 16:30	春季総会	○平成27年度活動報告 ○平成28年度活動計画の承認	中之島文化センター
11月25日 14:00～ 16:40	全体研修会	○公開授業（6年生） ○研究協議会 ○情報交換	長岡市立富曾亀小学校

※ 長岡市の「熱中！感動！夢づくり事業」

キッズ・イングリッシュ・アカデミー（小学校）の支援と補助

3 研究の実際

[公開授業より]

○富曾亀小学校（6年生 34名）What time do you get up? 「教えて！みんなの生活時間」
授業者：高野真也 教諭 星野けい子 指導員（長岡市教育委員会英語指導室）

本時では、What time ～？ではなく、発展的にHow long ～？を用いて、情報を伝え合う活動を行った。「いつ」から発展し、「どれくらいの時間」ということを尋ねるということに児童は興味と意欲をもって活動に取り組んだ。

ウォームアップでは、1から60の数をゲーム形式で復習したり、時刻や時間の長さを尋ねる表現をチャンツで復習したりした。また、コミュニケーション活動を行うために必要なリアクションの言語材料を常時掲示しておいた。そのことは、メインの活動をする際、思考の拠り所となり、情報のやりとりの活性化につながる事となった。

グループ活動の導入やワークシートの工夫からも児童は意欲的に活動を行う事ができた。また、コミュニケーション活動によって得られた情報から、自分の生活について見直す言動もみることができた。

授業者2名の的確なデモンストレーションも児童の活動意欲を高める要因となった。

[研究協議会より]

○指導者 長岡市教育センター指導主事 下村 恵美 様 からのご指導（要旨）

- ・ 現行の学習指導要領において、相手も自分も大切にし、英語を使いながらコミュニケーション能力の素地を養うことが重要である。
- ・ 授業45分の中で英語を用いる時間は、教師が考えているより、相当短い。できるだけ英語に親しむ時間を多くするために、活動の説明は簡潔に行うこと、日本語や無駄な言葉は使わないこと、そして、活動の時間を十分に確保することが大事になってくる。
- ・ コミュニケーション活動を通して、どのような力を身に付けさせたいのか明確にする必要がある。

4 成果と課題

公開授業では小学校だけでなく中学校英語の指導者も多く参加したこともあり、情報交換だけでなく、小学校から 中学校への「接続」という視点からも考えることができ、今後の指導の在り方について見直すことができた。

また、指導者から「教科化」に向けて待ったなしという情報を多くいただき、会員一人一人の目指す方向が明確になった研修となった。